

阿武隈川水系 摺上川ダムの効果 (平成28年8月28~30日 台風10号)

○台風10号の影響に伴い摺上川ダム流域は、1時間雨量が最大で約13.9mmとなるなど、8月28日22時頃から30日18時時点までの累加雨量が99.4mmに達し、ダムへの最大流入量は216.74m³/sを記録しました。

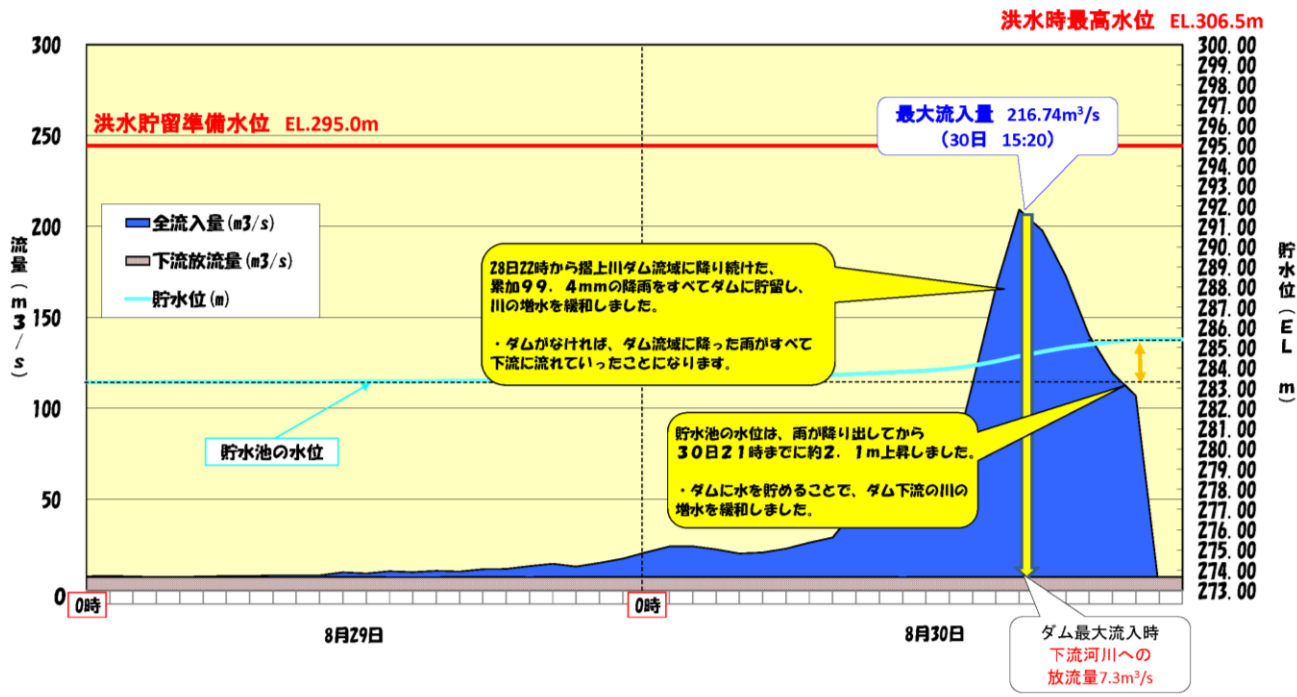
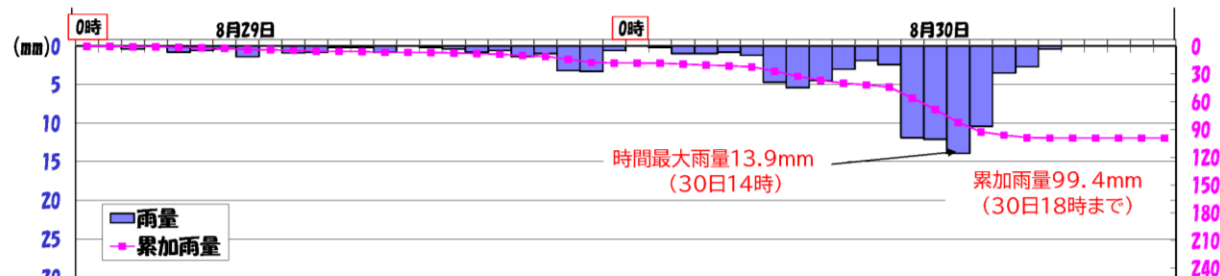
○今回の洪水における防災操作では、この摺上川ダム流域に降った大量の降雨をすべて貯留し、貯留量は約412万m³(東京ドーム3.3個分)にもなりました。

○ダム下流の瀬ノ上地点(福島市瀬ノ上付近)において、約1.14mの水位を下げる効果があったと推測されます。

瀬ノ上地点でのダムの効果(推定)



※数値は速報値であり、今後変わる可能性があります。



貯水位 (EL (m))

ダムが無かった場合に比べ「約1.14m」低く抑えることができました。

■ダムが無かった場合の水位
■ダムによる調節後の水位

約1.14m水位を下げる効果があったものと推定されます。